会社紹介

株式会社エフピコ

(2017.3.31現在)

設　　立	１９６２年（昭和３７年）
代 表 者	代表取締役会長　兼　最高経営責任者　小 松　安 弘 代表取締役社長　兼　最高執行責任者　佐 藤　守 正
資 本 金	１３,１５０百万円
従 業 員	８０７名（エフピコグループ：４,５１３名） 障がい者雇用人数３７４名（雇用率換算数６４４） 障がい者雇用率１３．９５％
本　　社	広島県福山市　・　東京都新宿区　（２本社制）
事業概要	ポリスチレンペーパーおよびその他の合成樹脂製簡易食品容器の製造・販売並びに関連包装資材等の販売
グループ会社	３１社

※障がいのある従業員を主力とした会社

エフピコダックス㈱（全国6事業所）

エフピコ愛パック㈱（全国12事業所）

エフピコにおける障がい者雇用の位置づけ

エフピコの障がい者雇用は、“基幹業務”での正社員雇用です

少量多品種
高付加価値製品生産

食品トレーの製造

成形加工・組立加工
検品・包装

障がい者雇用

簡易食品容器 製造・販売

物流 サービス

リサイクル

トレーtoトレー
ボトルtoトレー

障がい者雇用

リサイクルシステムの
重要工程

回収トレーの選別

発泡トレー
透明容器
PETボトル

障がい者雇用の歩み

31年前より障がい者雇用をスタートし、今では全国に広がっています

- ●2017年1月 **特例子会社4社をエフピコダックス㈱に統合**
- ●2015年12月 八王子PW工場開設
- ●2015年3月 ｴﾌﾋﾟｺﾊｰﾄﾘｻｲｸﾙ北海道選別ｾﾝﾀｰが北海道減容ｾﾝﾀｰに
- ●2010年10月 ｴﾌﾋﾟｺﾊｰﾄﾘｻｲｸﾙ山形選別ｾﾝﾀｰ開設
  10月 ｴﾌﾋﾟｺﾊｰﾄﾘｻｲｸﾙ北海道選別ｾﾝﾀｰ開設
- ●2009年8月**㈱茨城ピジョンリサイクル設立**
- ● 2009年1月愛パック事業を統合
  （広島愛パックをエフピコ愛パック広島工場へ）
  3月ｴﾌﾋﾟｺ愛ﾊﾟｯｸ北海道工場開設

リサイクルの回収容器選別事業

- ●2008年5月 ｴﾌﾋﾟｺﾊｰﾄﾘｻｲｸﾙ佐賀選別ｾﾝﾀｰ開設
  9月 ｴﾌﾋﾟｺﾊｰﾄﾘｻｲｸﾙ岐阜選別ｾﾝﾀｰ開設
  9月 ｴﾌﾋﾟｺﾊｰﾄﾘｻｲｸﾙ福山選別ｾﾝﾀｰ開設
  10月 ｴﾌﾋﾟｺﾊｰﾄﾘｻｲｸﾙ西宮選別ｾﾝﾀｰ開設
- ●2007年3月 **エフピコ愛パック㈱設立**
  2月 広島愛パック工場開設
  5月 ｴﾌﾋﾟｺ愛ﾊﾟｯｸ福山工場開設
  8月 ｴﾌﾋﾟｺ愛ﾊﾟｯｸ佐賀工場開設
  9月 ｴﾌﾋﾟｺ愛ﾊﾟｯｸ岐阜工場開設
  9月 ｴﾌﾋﾟｺ愛ﾊﾟｯｸ茨城工場開設
  10月 ｴﾌﾋﾟｺ愛ﾊﾟｯｸ西宮工場開設
  10月 ｴﾌﾋﾟｺ愛ﾊﾟｯｸ山形工場開設

営利法人として日本初の就労継続支援A型

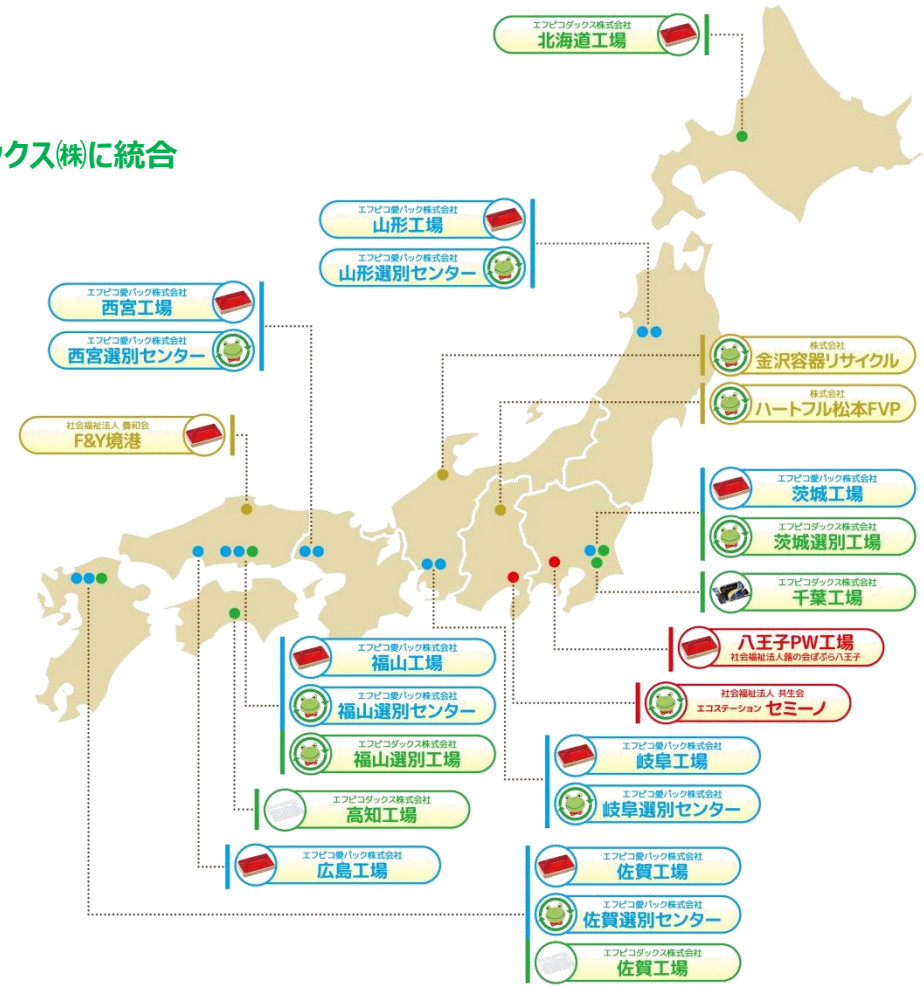
- ●2006年10月 **広島愛パック㈱設立**
  4月 **㈱ダックス佐賀設立**

透明容器の製造事業

- ●1995年4月 **㈱ダックス四国設立**

社会福祉法人あひるの会との連携。PSP容器製造事業

- ●**1986年1月 ㈱ダックス設立**



エフピコの２つの障がい者雇用の仕組み

特例子会社

●雇用した障がい者を親会社の雇用率に算定できる子会社のこと。

※“雇用率に算定できる”ということが特例のため”特例子会社”と言う。それ以外は普通の営利企業と同じ。

就労継続支援Ａ型事業

●一般企業等での雇用が困難な障がい者に、雇用契約に基づき就労の場を提供する”就労支援”事業。

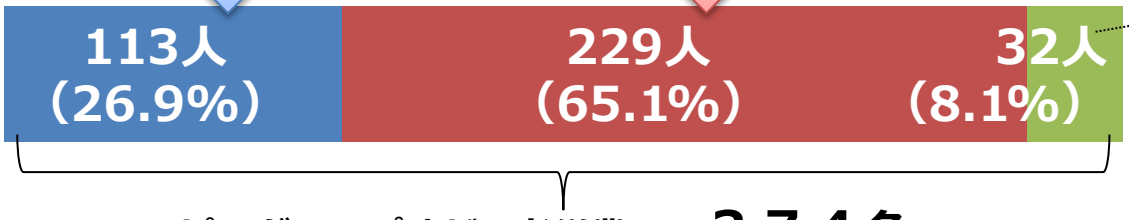
↓

●障がいのある従業員ごとに、個別支援計画を作成。

⇒事業を通じて能力を高める。能力が高まったら、一般企業への就労を支援する。

エフピコダックス㈱

エフピコ愛パック㈱



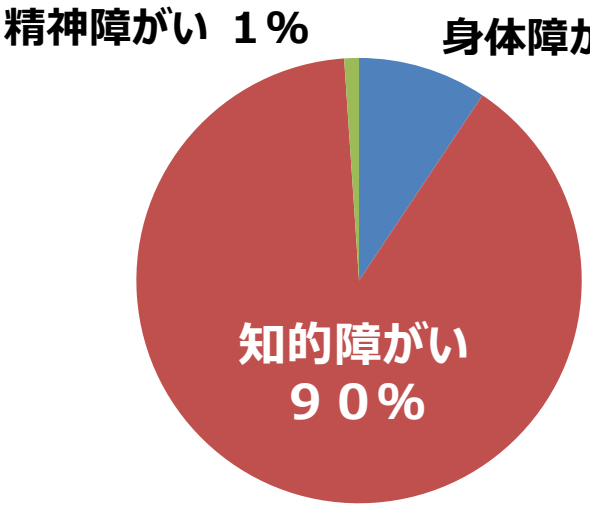
その他
本社・グループ会社
・工場等

エフピコグループ障がい者従業員：３７４名

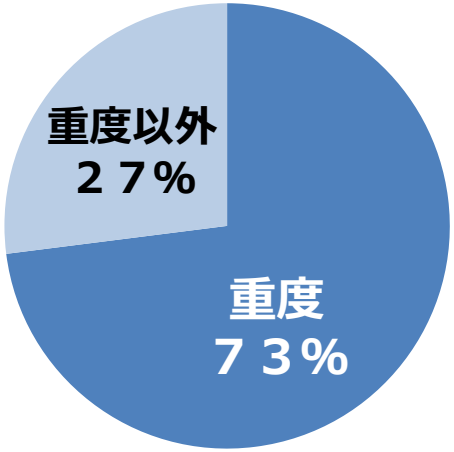
障がいのある従業員の状況

エフピコで働く障がいのある従業員は
知的障がいの方が９割、重度の方が７割強です

障がいの種別



障がいの程度



「重度」とは？

・身体障がい…「身体障害者手帳」で次のいずれかに該当する方
(1) １～2級の方
(2) ３級の障害を複数有する方
・知的障がい…次のいずれかに該当する方
(1)「療育手帳」で障害の程度が“重度”とされた方
(2)障害者職業センターで“職業的重度”と判定された方

エフピコのインクルージョン

ダイバーシティ経営（多様な人材の能力の最大限の発揮により様々な成果につなげる）**と共にある**
インクルージョン（誰もが対等な関係で関わり合い、社会や組織に参加する機会を提供）

＊「インクルージョン」の表現については、堀田恵美「**ダイバーシティに代わる注目のキーワード「インクルージョン」**　企業と人材（産労総合研究所）2008/6/5号を参考にした

ユニバーサルスポーツである フロアホッケーでともに汗を流す

障がいの有無を超えた社員同士の
交流を促進するため、
2010年～フロアホッケー活動を開始。

全国10拠点において
社員約650名（内、障がい
のある社員約200名）が
楽しんでいます。

障がい者雇用をテーマとした 社内報で情報を共有する

エフピコの取組に対する対外評価（障がい者雇用、環境）

年	ロゴ	内容	主催	詳細
2015 (3月)		ダイバーシティ経営 企業100選 選出	経済産業省	経済産業省がダイバーシティ人材を活かして新しい価値を創出してる企業を表彰する制度。容器製造やリサイクルの現場において、障がいのある従業員が活躍し、それが企業全体の価値につながっている、というところが評価されました。 障がい者雇用
2015 (12月)		地球温暖化防止活動 環境大臣表彰受賞 対策活動実践・普及部門	環境省	環境省が地球温暖化対策を推進する一環として、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人や団体に対し、その功績をたたえるための表彰制度。長年にわたるエフピコ方式リサイクル「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」の取組、再生されたエコトレー、エコAPETのCO2排出抑制効果が評価されました。 環境
2011		エコファースト企業 認定	環境省	業界における環境トップランナー企業であることを環境大臣が認定し、企業が地球温暖化対策・廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取組みを環境大臣に対し約束する制度です。認定を受けているのは40社のみです。(2015.3時点) 環境
2010		第一回 エコマークアワード 金賞受賞	（財）日本環境協会 エコマーク事務局	「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動している企業・団体などの特に優れた取り組みを表彰するもの。エフピコ方式による『トレーtoトレー(R)』のリサイクルの取組が選ばれました。 環境
2006		第１回「容器包装3R推進 環境大臣賞」 製品部門の最優秀賞	環境省	環境省が2006年に創設した表彰制度。第一回選考において最優秀賞受賞。エコトレー(R)の生産において消費者との連携を進めながら経済性とリサイクルを両立させたことが、評価されたものです。 環境